

◎観光振興の経費

<b>観光振興事業</b>	【	観光課	】
---------------	---	-----	---

【総合計画上の位置づけ】

活力ある暮らしやすいまち  
観光:観光に高い魅力と独自性があるまち

【事業の目的】

対象 観光客等

意図 鎌倉の観光情報をタイムリーに提供することによって、多くの観光客に鎌倉を訪れてもらい主要観光行事などの開催を支援したり、案内業務を適切に行うことによって、観光客に安全で快適に観光を楽しむことができるようにするため。

効果 観光客にとっては、観光目的を達することによる満足感の高揚を図り、市にとっては、産業振興、雇用確保などの経済的波及効果や地域の活性化につながる。

【事業の内容】

- (1) 観光振興支援事業
  - ・「鎌倉俳句&ハイク実行委員会」と「鎌倉ビーチフェスタ実行委員会」に負担金を交付し、多くの観光客等に新しい鎌倉の魅力を伝えた。
- (2) 広報宣伝事業
  - ・四季のみどころや観光マップなどの各種パンフレット類の発行と、ホームページの情報更新により、観光客への適切な情報提供を行った。
  - ・外国語パンフレットを作成し、外国人観光客への情報提供に努めた。
- (3) 観光協会支援事業
  - ・観光協会の運営と主要観光行事に対する支援を行い、鎌倉の観光振興に努めた。
- (4) 観光案内所運営事業
  - ・JR鎌倉駅東口駅前の観光案内所の運営を委託し、観光客に対し、適切な情報提供に努めた。

【中事業に含まれる実施計画事業】

観光情報の提供充実(6-3-3-①)

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
71,021	70,507	69,693		814
主な支出内訳				
・ 観光振興支援事業				
俳句&ハイク事業負担金				600
鎌倉ビーチフェスタ事業負担金				1,100
・ 広報宣伝事業				
四季のみどころ印刷製本費				1,299
観光マップ「鎌倉」作成業務委託料				1,197
ホームページ更新業務委託料				592
観光ポスター作成業務委託料				714
観光パンフレット作成業務委託料				817
・ 観光協会支援事業				
鎌倉花火大会実行委員会負担金				6,400
鎌倉市観光協会運営費補助金				36,932
鎌倉市観光協会行事費補助金				9,630
・ 観光案内所運営事業				
観光案内所業務委託料				10,024

平成21年度事務事業評価シート

事務事業 No./名称	■サービス部門 市民-15 観光振興事業 □支援部門						
事務事業 単 位	ザイムス コード及び 個別事業 名	386 観光振興支援事業	389 広報宣伝事業	388 広報宣伝事業		396 観光協会支援事業	
		1162 観光案内所運営事業					
主管課 分野名	観光課	関連課					
目標 (目標値)	観光振興に関する観光客及び市民の満足度を高める。平成22年度までに観光客80%、市民90%が目標数値。 入込観光客数を現状値(17年の1840万人)以上とする。						
人口等の データ	データ区分	20年度	19年度	18年度	備 考		
	人 口	176,484人	175,902人	175,051人	・各年4月1日		
	世 帯 数	77,430世帯	76,536世帯	75,611世帯	・観光客数は、暦年		
運営資源 状 況	観光客数	19,344,470人	18,685,598人	18,455,281人			
	決算値	69,693千円	68,938千円	69,478千円			
	(国・県)						
	(負担金等)	9千円	13千円	47千円			
	(一般財源)	69,684千円	68,925千円	69,431千円			
	人員配置数	1.4人	1.4人	1.5人			
	人 件 費	13,617千円	13,473千円	14,547千円			
協働の パートナー	観光協会、商工会議所ほか	観光協会、商工会議所ほか	観光協会				
事務事業 運営経費	総事業費	83,310千円	82,411千円	84,025千円			
	市民1人当 りの経費	472円	469円	480円			
	対象者1人 当りの経費	4.3円	4.4円	4.6円			
20年度事務事業の変更点(新規・廃止・縮小した個別事業)/事業仕分けの視点による妥当性の評価							
個別事業名	変更額(千円)	事業の変更点・変更理由			妥当性※	※妥当性の評価	
パンフレット発行事業	303	外国語(フランス語)の発行			④	① 必要性なし	
パンフレット発行事業	515	課外授業ガイドの増刷			④	② 民間	
						③ 国・県	
						④ 現行どおり(鎌倉市)	
指 標	評 価	年度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(年度)
HPの1日あたりアクセス件 数	◎	目標値	1000件	1000件	1000件	1000件	1000件
		実績値	3243件	3553件			
指 標	評 価	年度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(年度)
主要観光行事(鎌倉まつり、 花火大会)の観光客数		目標値	—	—	—	—	—
		実績値	59万人	45万人			
指 標	評 価	年度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(年度)
観光案内所の利用件数		目標値	—	—	—	—	—
		実績値	193,335人	210,673人			
指 標	評 価	年度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(年度)
		目標値					
		実績値					
評価 ◎:目標を達成 ○:目標に向かって前進している △:横ばい ×:後退している ベンチマーク(県内外自治体や民間団体との比較値)							
団体名	横浜市	藤沢市	箱根町		京都市	奈良市	小樽市
観光客数	42,532	13,401	20,677		50,210	11,695	7,145
宿泊客数	5,134	362	4,727		13,061	2,188	637
宿泊率	12.1%	2.7%	22.9%		26.0%	18.7%	8.9%
	鎌倉市						
観光客数	19,344						
宿泊客数	327						
宿泊率	1.7%						

平成21年度事務事業評価シート

創意・工夫・課題等改善状況	課題・問題点	(20年度事務事業を実施するうえでの課題・問題点は、どのようなことでしたか) ・主要観光行事をより安全で快適に開催するために、そのあり方や運営方法について検討を要する。
	創意・工夫・課題等の改善点 20年度の成果	(課題・問題点についてどのような創意工夫、改善をしましたか。また、どのような成果がありましたか) 主要観光行事は、鎌倉の観光振興に欠かせないことから、行政、観光協会や関係機関、団体で構成する鎌倉市観光振興推進本部でその運営方法について検討を行った。また、観光振興について市民の理解を深めるため、シンポジウムを開催するなど、情報の提供に努めた。
	未解決の課題・問題点	(20年度事務事業の取組において対応(解決)できなかったものはどのようなことですか) ・主要観光行事などの観光情報は、行政や観光協会など、複数のホームページで提供しているため、利用者に必要な情報が得難くなっている。 ・多くの市民に鎌倉の観光振興への取組を理解してもらうためには、継続的な取り組みが必要である。
	今後の方針(対応・改善)	(上記対応できなかった課題・問題点について今後どのように対応(改善)していきますか) ・観光振興に関する情報を一元化して発信できるように、情報発信の仕組みを検討していく。 ・鎌倉の観光振興を市民に理解してもらうための取り組みを継続して行っていく。

一次評価(課長評価)

今後の方向性	A:充実又は拡大 B:現状のまま継続	C:統合又は縮小 D:廃止又は休止	E:事業完了	A	改善の必要性 無
	観光振興の取組みが、より多くの市民に理解されるよう情報提供に努めるとともに、観光情報の収集や発信の手法についても検討し、市民や観光客のニーズに合った情報提供に努めたい。				
担当課長氏名:		鶴見 俊之			

二次評価(部長評価)

今後の方向性	A:充実又は拡大 B:現状のまま継続	C:統合又は縮小 D:廃止又は休止	E:事業完了	A	改善の必要性 無
	関係機関と連携を深め、情報収集や情報提供の充実を図り、効果的な情報発信を目指し、鎌倉の魅力を高めていきたい。				
担当部名	市民経済部	部長名	相澤 千香子		